

俳句・短歌を募集

作品には、ふりがなをつけ、住所・氏名・電話番号を明記して、みらい創造課までお寄せください。1人1句、1首に限りです。

4日必着

短歌 (投稿順)

志賀坂に並ぶ二子の東から見る西岳の姿勇まし
望月の出を待ち一人庭に佇つコロナ終息の願い叶えて
名に聞けばコロナ禍なれど秋風に訪ねてみたり萩花の里
夏バテと長引くコロナ引き籠り足腰なえて八十路を進む
夫逝きて早やも5年の期を迎ふ墓石の刻字をなぞりて洗ふ
老木の栗は数多の実を落し感謝をしつつ黙々と剥く
折よくも山のきのこを頂きて彼岸参りの客と味わう
平和でも平穩言えずコロナ禍で三度目接種ニュースに不安
玄関の色鮮やかなコスモスよ畑の隅のこぼれ種から
二十二歳の義姉に中二の吾は時にお弁当甘え借り着甘えき
敬老の日曾孫等にまで祝福され金で得られぬ愛の嬉しき
スリッパに蟋蟀一匹寛いで夜の来客そつと庭へと
覚悟していたのだけれど母の死に言いようのない哀しみが襲う
四十年振りに登りし破風山世は移ろへど山は変はらず
秋夕日訪れし友と見入りてお寺の鐘が六時を告げる
無観客体育祭の校庭に先生方の声援響く

皆野 中 太幡琉美花
三沢 新井 民子
国神 藤原マキ子
皆野 花垣好比古
皆野 村田ハツ代
皆野 大澤 貴夫
皆野 根岸 詩子
皆野 萩原 初恵
皆野 戸塚喜久雄
三沢 新井 叶子
三沢 新井 民子
三沢 眞下 杏子
上日野沢 四方田利男
皆野 村田ハツ代
皆野 引間 万亀
皆野 浅見 豊子
下日野沢 新井 節子
下田野 石原 達也
皆野 打木 昭廣
皆野 藤原マキ子
皆野 中 太幡琉美花

俳句 根岸茉莉 選 投稿数 17句

名月や寝惜しみてまた外に出でぬ
三沢 眞下 杏子
名月とは陰曆八月十五日又は九月十三日の夜の月のこと。この日に月を觀賞する習慣は、平安時代に中国から伝わり、収穫に感謝し、来年の豊作を願う行事でもあります。今年も九月二十一日八年ぶりに満月の十五夜。あまりにも美しい月で寝てしまふのが惜しくなり、外に出てもう一度ゆつくり空を仰ぐ作者。月の光に優しく包まれて至福の一時です。二句目、月のクレーターは天文学では大部解明されていますが、昔の人の魂、かぐや姫、桂の木を切る少年など、想像を巡らすのも楽しいですね。清かに夜の冷気、静寂も感じられます。三句目、早朝から大工さんの槌音を負かす程、啄木鳥が凄いい勢いで木に穴を開けています。早く動く頸。鞭打ち症?が心配になります。名月や清かに写すクレーター
皆野 中 太幡琉美花
皆野 萩原 初恵
皆野 玄関に亡母の描きし萩の花
皆野 櫻井 早苗
皆野 今日だけの運命愛しや花木權
下田野 沢 小原 和夫
皆野 秋声の挨拶清し登校児
下田野 新井 節子
皆野 名月に「おやすみ」を言う十時半
皆野 引間 千鶴

1歳になる赤ちゃんを募集しています



ご応募いただいた赤ちゃんは、全員掲載します。誕生月の前月10日までに、みらい創造課窓口(写真をご持参ください)または、町ホームページからお申し込みください。

12月号の締め切りは、11月10日(水)です。

問合せ みらい創造課 政策推進担当 ☎26-7334

1歳のお誕生日おめでとう

けん と 賢利くん

親鼻区 野口 雄司さん 静可さん



お姉ちゃんと仲良く、笑顔いっぱい大きくなあれ☆

今月の題字

三沢小2年

若林 愛音さん



児童の見守り放送

皆野小3年

請川 良朋さん



「広報みなの」10月号において、名前の記載に誤りがありました。お詫びし訂正いたします。

短歌
十二個のトランペットは着付け希望の如く日ごと膨らむ
バラリンピック選手の闘志に魅了され生きる気力と精気を貰ふ

三沢 新井 民子
三沢 新井 叶子